

日刊建設工業新聞（2022年12月12日付12面掲載）

【オリコンサル九州支社 河川砂防港湾部副次長 土谷安司さん 構造物設計の存在感高める】

オリエンタルコンサルタンツ九州支社
河川砂防港湾部副次長

つちや やすし
土谷 安司さん

構造物設計の存在感高める



土谷さん(左)と上田部長

九州支社河川砂防港湾部で副次長を任され、主に築堤護岸や水門といった河川構造物の設計に従事する。現在の目標は「九州圏内で当社の河川構造物設計のプレゼンスを今以上に高めていくこと」。管理職としては多様な考えがあり、働き方が変化する中、「組織としてチームとして、今以上に問題や課題を解決できる強いチームづくり」を目指す。

入社後に中部と関西の支社にそれぞれ1年勤務した後、2011年から九州支社の河川砂防港湾部に勤務する。若い技術者が多いチームのまとめ役も担う。技術基準だけでなく設計する地区の特色や特有の課題を踏まえ、「どう最適解を導くか、議論やコミュニケーショ

きみに期待

ンを取りながら仕事を進めていきたい」と力を込める。

メリハリのある働き方を意識し、休日は子どもと散歩したり、公園に行ったりして一緒に過ごす時間でリフレッシュしている。

上司の上田晋也河川砂防港湾部長は「部下の面倒見が良く、同時に愛されキャラでもある」と土谷氏の人柄を語る。「いろいろな経験を積み、多様な目線を持てるリーダーになってもらいたい」と、土谷氏の管理職としての成長に期待を寄せる。